

## 研究発表プログラム(A会場)

座長	( 大学)	頁
A-1 9:50～10:05	理科授業において教育実習生と熟達教員が発する問いの違い —小学校第4学年「電気のはたらき」を事例として— ○森萬里穂(宮崎大学大学院教育学研究科), 中山迅(宮崎大学大学院教育学研究科), 松原憲治(国立教育政策研究所)	
A-2 10:05～10:20	中学校理科第一分野における実社会・実生活の内容に関する一考察 ○黒岩千恵(宮崎大学大学院教育学研究科), 野添生(宮崎大学教育学部), 中山迅(宮崎大学大学院教育学研究科)	
A-3 10:20～10:35	清酒醸造をテーマとした教材開発 —ラボスケールにおける製麴法の構築と酵素活性測定— ○井菜々子(北九州市立大学大学院国際環境工学研究科), 佐藤由可衣(北九州市立大学大学院国際環境工学研究科), 二宮純子(大分工業高等専門学校一般科), 森田洋(北九州市立大学国際環境工学部)	
A-4 10:35～10:50	タブレットを用いたムービーづくりを取り入れた「身近な自然の観察」 —ワークショップ“九大秋さんぽ de オリジナル Movie をつくろう”からの考察— ○坂倉真衣(宮崎国際大学), 笠原広一(東京学芸大学)	
10:50～11:00	休憩	
座長	( 大学)	
A-5 11:00～11:15	日本人学校における理科授業の「並行履修」について —「並行履修」の有効性について— 森田学(佐世保市立清水中学校)	
A-6 11:15～11:30	「文化継承・活用モデル」の成果を更に確かなものにするための一考察 —授業づくりのための具体的な技法と理論の共有を通して— ○石田靖弘(中村学園大学), 今林義勝(福岡市立照葉小学校), 帆足洋之(福岡市立名島小学校), 石井健作(筑紫野市立原田小学校)	
A-7 11:30～11:45	文化継承・活用モデルによる授業の効果的な指導法 —小学校第5学年「電磁石の性質」での実践— ○藤本博幸(福岡市立原西小学校), 石井健作(筑紫野市立原田小学校), 石田靖弘(中村学園大学)	

A-8 「サイエンス・ネイティブ」の育成を目指して —幼稚園での実践例—  
11:45～12:00 ○隈部敦子((元)福岡教育大学附属幼稚園), 隅田学(愛媛大学), 進藤公夫((元)福岡教育大学)

12:00～13:30 昼休憩／九州支部評議員会(A会場)

13:30～14:00 日本理科教育学会九州支部総会(A会場)

14:00～14:10 休憩

座長 ( 大学)

A-9 概念生態系のアイデアを基礎とした理科授業の実践 —小学校第5学年  
14:10～14:25 「もののとけ方」の単元を事例として—  
○織田一輝(福岡教育大学大学院教育学研究科), 甲斐初美(福岡教育大学), 森藤義孝(福岡教育大学)

A-10 中学校理科における学習意欲と思考の関係性についての研究 —学習内容  
14:25～14:40 に対するアンケート調査から科学的な探究過程の分析をする—  
○峰松由季(大分大学大学院教育学研究科), 三次徳二(大分大学教育学部), 曾根崎浩司(大分市立明野中学校)

A-11 小学校教員免許取得希望者の溶解度曲線から見た表・グラフ作成能力 —  
14:40～14:55 大学生はどの程度の素養を持っているのか?—  
吉田安規良(琉球大学大学院教育学研究科)

A-12 中等教育教員養成における教科教育科目・教育実習科目の授業改善 —  
14:55～15:10 理科におけるディープアクティブ・ラーニングの成立を目指して—  
○甲斐初美(福岡教育大学), 坂本憲明(福岡教育大学), 森藤義孝(福岡教育大学)

15:10～15:20 休憩

座長 ( 大学)

A-13 鹿児島県公立小・中学校における理科の地学領域指導の現状  
15:20～15:35 ○迫口友里(鹿児島大学大学院教育学研究科), 土田理(鹿児島大学学術研究院法文教育学域教育学系)

A-14 自然科学系学会が行う高校生向けジュニアセッションの実態調査 —ジュニア  
15:35～15:50 セッションの教育的効果の解明に向けて—  
三次徳二(大分大学教育学部)

- A-15 旧ソ連邦の中等理科教育における教科間結合に関する研究 —1920 年代  
15:50～16:05 から 1970 年代初めにおける教科間結合の目的と機能—  
山路裕昭(長崎大学教育学部)
- A-16 鍵教材「水」を視点とした小学校理科カリキュラムの分析  
16:05～16:20 渡邊重義(熊本大学教育学部)
- A-17 「雲の発生過程」の理解に関する調査研究 —中学生に対する質問紙調査  
16:20～16:35 結果について—  
○坂本憲明(福岡教育大学), 宇都宮敬了(福岡県豊前市立千束小学校)

## 研究発表プログラム(B会場)

座長	( 大学)	頁
B-1 9:50~10:05	NHK 教育 TV 番組「カガクノミカタ」から見る批判的思考の一考察 ○日高愛(宮崎大学大学院教育学研究科), 中山迅(宮崎大学大学院教育学研究科)	
B-2 10:05~10:20	単純電気回路における小学生の概念変化 —上位学年での関連単元の学習に注目して— ○松下仁(宮崎大学大学院教育学研究科), 中山迅(宮崎大学大学院教育学研究科)	
B-3 10:20~10:35	合成洗剤に対する発光細菌の感受性試験 ○吉野佑弥(大分工業高等専門学校), 杉原勇也(大分工業高等専門学校), 二宮純子(大分工業高等専門学校), 森田洋(北九州市立大学国際環境工学部)	
B-4 10:35~10:50	酸化被膜を用いた光の干渉の教材化 ○多賀大貴(大分工業高等専門学校), 岡田大志(大分工業高等専門学校), 二宮純子(大分工業高等専門学校一般科), 上野崇寿(大分工業高等専門学校電気電子工学科)	
10:50~11:00	休憩	
座長	( 大学)	
B-5 11:00~11:15	簡易型デジタルカメラ分光装置の開発とその活用について ○濱田栄作(琉球大学教育学部), 喜屋武綾菜(琉球大学教育学部)	
B-6 11:15~11:30	身近な素材を用いた圧力の教授法の試み ○巨海玄道(久留米工業大学基幹教育センター), 野田常雄(久留米工業大学教育創造工学科), 中村文彦(久留米工業大学教育創造工学科)	
B-7 11:30~11:45	とっても楽しかった太陽電池と乾電池 —問題解決に目的意識を— 高野登久(近代電気学史研究所)	
B-8 11:45~12:00	熊本県天草市に位置する佐伊津層の教材化と授業実践 ○津留ありさ(熊本大学大学院教育学研究科), 高嶋菜織(福岡市立野芥小学校), 田中均(熊本大学教育学部)	

- 12:00～13:30 昼休憩／九州支部評議員会(A会場)
- 13:30～14:00 日本理科教育学会九州支部総会(A会場)
- 14:00～14:10 休憩

座長 ( 大学)

- B-9 14:10～14:25 次期改訂理科教科書の生命・生物観察・実験の再現性と科学性に資する根拠データベースの構築 ～問題の所在及び観察・実験の実施困難度測定の予備調査～  
西野秀昭(福岡教育大学)
- B-10 14:25～14:40 沖縄島に生息する埋在性二枚貝の教材化に向けた基礎的研究 —イソハマグリとヒメアサリの生息分布状況を通して—  
友利義明(名護市立東江小学校), ○杉尾幸司(琉球大学大学院教育学研究科)
- B-11 14:40～14:55 ESDの基礎となる生態系への理解の促進 —校内飼育・栽培活動と校外研修を基に—  
下山田隆(佐賀市立成章中学校)
- B-12 14:55～15:10 論理的思考力をはぐくむ理科授業をデザインする  
原口淳一(山鹿市立中富小学校)
- 15:10～15:20 休憩

座長 ( 大学)

- B-13 15:20～15:35 中学生の理科学習における動機づけモデルの検討 —多母集団同時分析による男女差の検討—  
○岡村華江(高知大学大学院総合人間自然科学研究科), 足達慶暢(高知大学大学院総合人間自然科学研究科), 鈴木達也(高知大学大学院総合人間自然科学研究科), 蒲生啓司(高知大学教育学部), 赤松直(高知大学教育学部), 草場実(高知大学教育学部)
- B-14 15:35～15:50 高校生の観察・実験に対する動機づけと方略の関係(I) —構造方程式モデリングによる因果モデルの構成—  
○草場実(高知大学教育学部), 足達慶暢(高知大学大学院総合人間自然科学研究科), 鈴木達也(高知大学大学院総合人間自然科学研究科), 岡村華江(高知大学大学院総合人間自然科学研究科), 池恩燮(大分県立日田高等学校)

- B-15 15:50～16:05 高校生の観察・実験に対する動機づけと方略の関係(Ⅱ) —メタ認知を測定する項目の作成—  
○足達慶暢(高知大学大学院総合人間自然科学研究科), 鈴木達也(高知大学大学院総合人間自然科学研究科), 岡村華江(高知大学大学院総合人間自然科学研究科), 池恩燮(大分県立日田高等学校), 草場実(高知大学教育学部)
- B-16 16:05～16:20 高校生の観察・実験に対する動機づけと方略の関係(Ⅲ) —メタ認知を調整変数とする多母集団同時分析—  
○鈴木達也(高知大学大学院総合人間自然科学研究科), 足達慶暢(高知大学大学院総合人間自然科学研究科), 岡村華江(高知大学大学院総合人間自然科学研究科), 池恩燮(大分県立日田高等学校), 草場実(高知大学教育学部)
- B-17 16:20～16:35 大分県立日田高等学校における探究Ⅰ・Ⅱとその教育効果  
○池恩燮(大分県立日田高等学校), 草場実(高知大学教育学部), 川村和夫(大分県立大分舞鶴高等学校)